

J10971
初版
2016年6月

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ASUS ZenBeamTM

**IN SEARCH OF
INCREDIBLE** /

e-マニュアル

ASUS

著作権および商標について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本書について、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害 (利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む) に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書に記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2016 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害 (死亡したケースを含む) と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われず。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

多言語に対応した弊社サポートサイトをご覧ください。
<http://www.asus.com/jp/support/>

もくじ

はじめに	5
このマニュアルの表記について	6
多言語版	6
安全上の注意	7
LEDプロジェクターを使用する	7
修理、パーツ交換	8
プロジェクターのお手入れ	8
廃棄・リサイクルについて	9
クラスB情報技術装置	9

Chapter 1: 製品概要

製品概要	12
上面	12
特殊機能	14
フラッシュライトモード	14
緊急時モード	15
前面	16
背面	17
右側	19
左側	20
底面	21

Chapter 2: セットアップ

LEDプロジェクターの設置	24
電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する	24
電源プラグについて	27
電源プラグアダプター一例	27
周辺機器をLEDプロジェクターに接続する	28
電源ボタンを押す	29
レンズカバーを開き、フォーカスリングを調整する	30
スクリーンサイズと投写距離の一覧	31

Chapter 3:使用方法

LEDプロジェクターを初めて使用する	34
オンスクリーンディスプレイメニュー	35
LEDプロジェクターの設定を調整する	36
オンスクリーンディスプレイ メニューのオプション	37
ボリューム	37
輝度	37
コントラスト	38
自動キーストーン	38
アスペクト比	39
Splendid	39
バッテリー駆動で使用している場合	40
電源アダプターを接続している場合	40
映像ポジション	41
セットアップ	42
インフォメーション	42
LEDプロジェクターの電源をオフにする	43

付録

Federal Communications Commission Statement	46
Canadian Department of Communications Statement	47
Global Environmental Regulation Compliance and Declaration	47
回収とリサイクルについて	47
HDMI/MHL 接続方法	48
主な対応解像度および周波数	49
HDMI (PC)	49
HDMI (ビデオ)	49
E1 LED プロジェクターの仕様一覧	50

はじめに

本マニュアルでは、本製品の設置方法、接続方法、各種機能の設定方法について説明をしています。本製品をご使用いただく前に必ず本マニュアルをご熟読の上、正しくお使いください。

本マニュアルは、以下の内容で構成されています。

Chapter 1: 製品概要

本製品の各部位および付属のリモコンについて

Chapter 2: セットアップ

本製品の設置および接続方法について

Chapter 3: 使用方法

本製品の使用方法および機能について

付録

本製品の規格や海外の法令について

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

ご参考: 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。

ご注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

<警告>: 作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

多言語版

他の言語のマニュアルをご覧になりたい場合は、弊社サポートサイトよりダウンロードいただけます。

<http://www.asus.com/jp/support/>

-
- 本書に使用している画面は開発中のものであり、実際の画面とは異なる場合があります。
 - ソフトウェア・ファームウェアのバージョンによって表示される画面および操作が異なる場合があります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。
 - 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
-

安全上の注意

LEDプロジェクターを使用する

- 本製品をご使用いただく前に必ず本書をご熟読の上、正しく安全にお使いください。
- 本マニュアル記載の指示内容を守って製品をご使用ください。
- 水平で安定した場所に設置してご使用ください。
- 油煙やタバコなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- 本製品及びパッケージは子供やペットの手の届かない場所に大切に保管してください。
- 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を電源に接続する際は、電圧が適切であるかをご確認ください。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 破損した電源コード、アクセサリ、周辺機器を使用しないでください。
- 金属類・燃えやすい物・異物などを本機の吸気口・排気口に差し込んだり、落としたり、近くに放置したりしないでください。
- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
- 本機を液体の近くで使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
- 本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

修理、パーツ交換

- ご自身で修理、分解、改造をしないでください。故障の原因になる上に、感電、火災の危険があります。また、分解した部品による特に小さなお子様の誤飲の危険があります。絶対にしないでください。
- 製品に内蔵されている充電電池は、お客様ご自身で交換や取り外しをしないでください。（製品廃棄時を除く）
- 製品が故障した場合は、ASUSコールセンターまでご相談ください。

プロジェクターのお手入れ

- 本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。
- 本機のケースのお手入れの際は、清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。
- レンズのお手入れは、レンズの温度が下がってからレンズ専用のクリーナーをご使用ください。指などで直接レンズに触れないようご注意ください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- 本機を気温の低い場所から暖かい場所に移動して使用すると、レンズや内部コンポーネントが結露する場合があります。結露を防ぐには、本機の移動後、約2時間経過してから本機を使用してください。

廃棄・リサイクルについて



本製品やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

クラスB情報技術装置

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

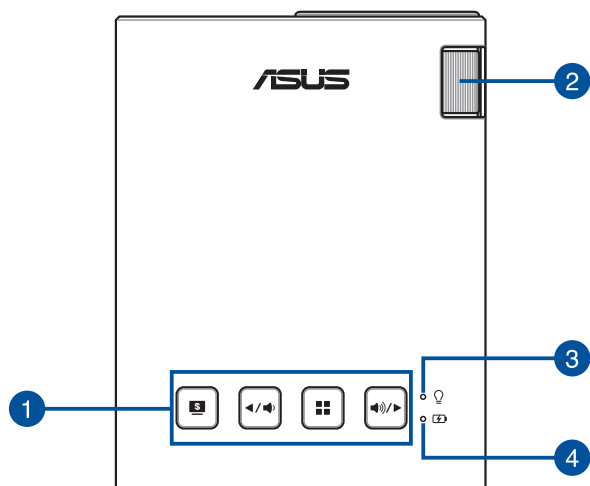
VCCI-B

Chapter 1:

製品概要

製品概要

上面



1 コントロールパネルボタン

このボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ (OSD) を操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能のショートカットキーとしても動作します。



Splendid/終了



左/音量↓



メニュー/OK



右/音量↑

ご参考: 各ボタンの詳細については、「**Chapter 3: 使用方法**」をご覧ください。

2 フォーカスリング

本機が投写する画像の焦点 (ピント) を合わせます。

3 電源インジケータ

本機の電源がオンになると点灯します。このインジケータはバッテリーの残量を通知する機能も併せ持っています。

- ・ 本機の電源オンで電源インジケータが点灯します。
- ・ バッテリーの残量に応じて電源インジケータが、グリーンまたはレッドで点灯します。

電源インジケータの色が示す意味は次のとおりです。

色	状態
グリーン点灯	・電源に接続された状態 ・バッテリーモードで動作中 (残量25%以上) ・パワーバンクモードで動作中
レッド点灯	・バッテリーモードで動作中 (残量25%未満)
レッド/グリーン点滅	・温度異常を検知 プロジェクターの温度が高すぎる場合、自動的に明るさを下げ温度上昇を抑えます。更に温度が上昇する場合は、プロジェクターは緊急停止します。

4 バッテリーインジケータ

内蔵バッテリーの充電状態を通知します。バッテリーを充電中インジケータはレッドで点灯します。バッテリーが満充電になるとインジケータはグリーンで点灯します。

バッテリーインジケータの色が示す意味は次のとおりです。

色	状態
グリーン	バッテリーは満充電です。
レッド	バッテリーは充電中です。

ご注意: 本機には、付属の電源アダプターをご使用ください。付属以外の電源アダプターを使用すると故障の原因となります。

特殊機能

本機は映像投写以外の機能も備えており、バッテリー駆動時に「Splendid/終了」ボタンを押すことで特殊機能を使用することができます。

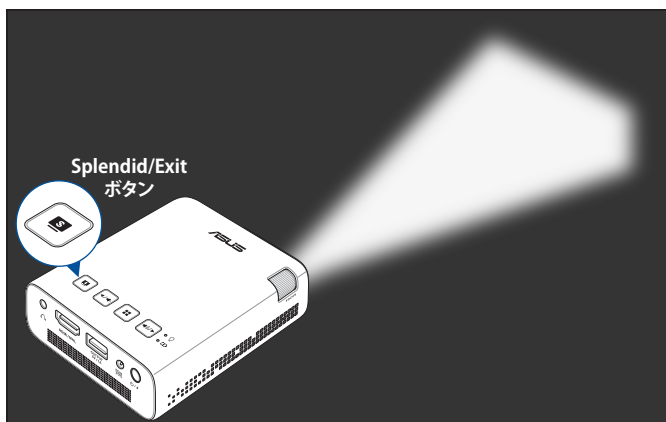
ご参考:

- 特殊機能はバッテリー駆動時のみ利用することができます。
- 緊急時モードを終了するには、Splendid/終了ボタンを押して動作モードを切り替えるか、電源ボタンを押して電源をオフにしてください。

ご注意:この機能を使用する際は、バッテリーが十分に充電された状態でご使用ください。バッテリー駆動時間は使用状況によって異なります。


フラッシュライトモード

フラッシュライトモードでは、バッテリー駆動時に投写する映像の入力がない場合にフラッシュライト (LED照明) としても使用することができます。



手順

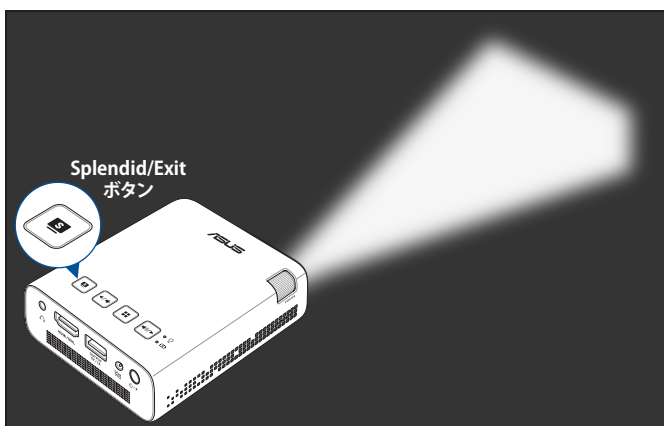
1. 本機からすべての周辺機器と電源アダプターを取り外し、本体背面の電源ボタンを押して本機の電源をオンにします。
2. 本機のレンズのカバーを開けます。

3. 投写画面に「**信号がありません**」とメッセージが表示されることを確認します。
4.  を繰り返し押し続けて動作モードを切り替えます。
[シアター]→[エコモード]→[フラッシュライトモード]


ご注意: この機能を使用する際は、バッテリーが十分に充電された状態でご使用ください。バッテリー駆動時間は使用状況によって異なります。

緊急時モード

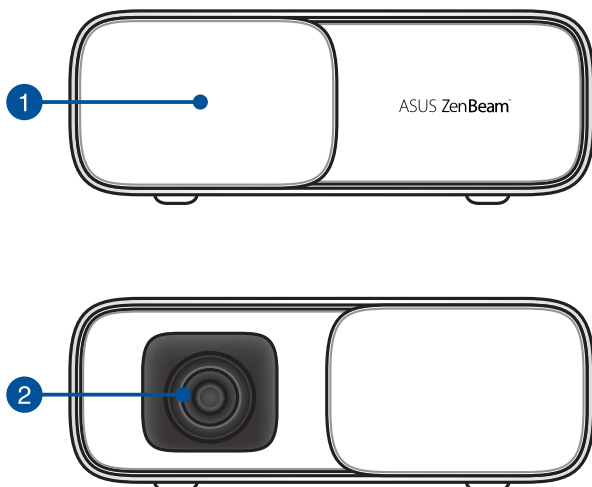
緊急時モードでは、モールス符号と同じ、3短点、3長点、3短点 (···—···) のタイミングで光の投写を行い、緊急事態であることを周囲に知らせます。



手順

1. 本機からすべての周辺機器と電源アダプターを取り外し、本体背面の電源ボタンを押して本機の電源をオンにします。
2. 本機のレンズのカバーを開けます。
3. 投写画面に「**信号がありません**」とメッセージが表示されることを確認します。
4.  を繰り返し押し続けて動作モードを切り替えます。
[シアター]→[エコモード]→[フラッシュライトモード]→
[緊急時モード]

前面



① レンズカバー

レンズカバーを閉じることで投写レンズを保護します。

ご注意: 本機を使用する際は、必ずレンズカバーを開けてご使用ください。

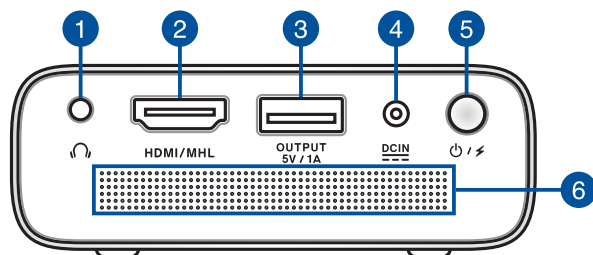
② 投写レンズ

入力された信号をスクリーンに投写するためのレンズです。

ご注意:

- レンズの表面は傷つきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。
 - 強い光が投射されていますので、投写レンズを正面から直視しないでください。
-

背面



1 オーディオ出力ポート

3.5mm ミニプラグのヘッドホンやアクティブスピーカーを接続します。

2 HDMI/MHL入力ポート

HDMI/MHLに対応したコンピューター、AV機器、モバイル機器を接続します。本機はHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) に対応しています。

3 電源出力ポート (USB端子タイプA)

最大5V/1Aを出力します。本機の使用時、このポートに接続したUSBデバイスを給電・充電することができます。

* バッテリー駆動時、MHLデバイス接続と電源出力ポートによる給電・充電は同時に行えません。

** このポートは給電用USBポートであり、USBデバイスからデータを読み込むことはできません。

4 電源ポート

付属の電源アダプターを接続します。

<警告>: 本製品の使用中、電源アダプターは非常に高温になります。高温部に触れたり近づいたりすると火傷の原因となることがあります。

<警告>: 仕様の合わない電源アダプターや電源コードを使用すると、火災や感電、故障の原因となります。電源アダプターは必ず本機に付属の電源アダプターをご使用ください。

5 電源ボタン

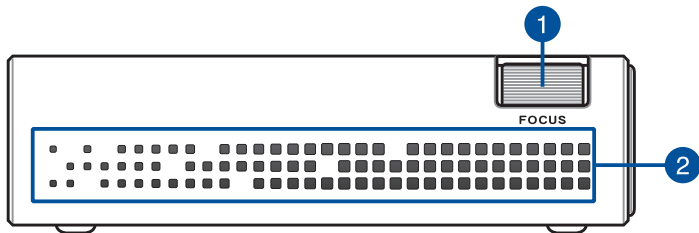
3秒ほど長押しすることで本機の電源をオン/オフすることができます。短く押すことでパワーバンクモードをオン/オフすることができます。

6 スピーカー

接続した機器から音声信号が入力された場合、このスピーカーから音声が出力されます。

ご参考: オーディオ出力ポートにヘッドホンやアクティブスピーカーが接続されている場合は、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

右側



① フォーカスリング

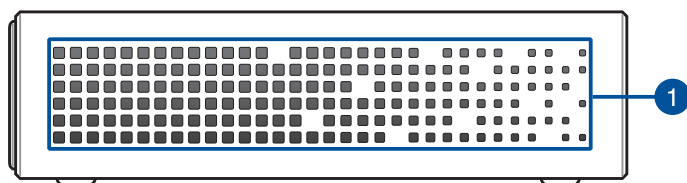
本機が投写する画像の焦点 (ピント) を合わせます。

② 吸気口

本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

<警告>: 本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

左側



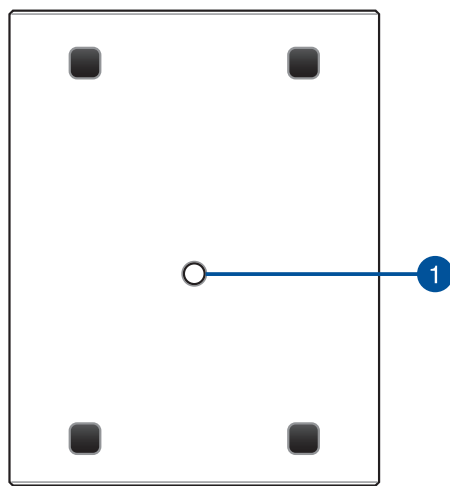
1 排気口/通気口

本機内部を冷却するために熱を逃がします。

<警告>: 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

<警告>: 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形などの熱による影響を受けやすいものを排気口の近くに置かないでください。

底面



1 三脚取り付け部

市販の三脚ネジ (1/4-20UNC) を取り付けることができます。

Chapter 2: セットアップ


LEDプロジェクターの設置

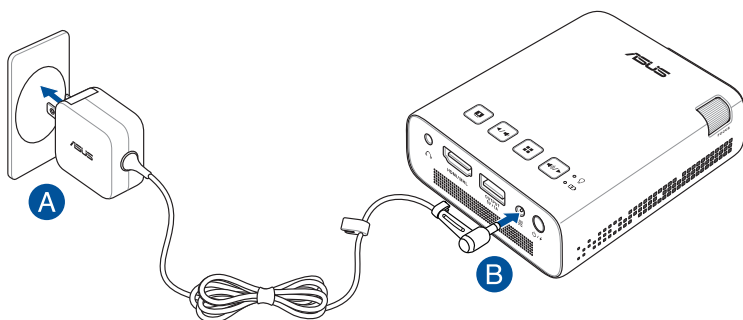
本製品はプラグアンドプレイに対応しており、HDMI/MHLデバイスを接続するだけで簡単に映像を投写することができます。さらに本製品は独自の「ASUS SonicMaster Audio technology」を採用した内蔵スピーカー「SonicMaster スピーカー」により高音質サウンドをお楽しみいただけます。

次の手順に従って、本製品を正しく設置してください。

電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する

- A. 電源コードをコンセントに接続します。
- B. 電源アダプターを本製品の電源ポートに接続します。

 本製品お買い上げ後、はじめて使用する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、必ず3時間以上充電してからご使用ください。



ご参考: 電源アダプターの形状や電源コードの有無は、ご購入の国や地域によって異なります。

ご注意:

- 本機には、付属の電源アダプターをご使用ください。付属以外の電源アダプターを使用すると故障の原因となります。
 - 本製品お買い上げ後、はじめて使用する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、電源アダプターが接続されていることを確認してから電源をオンにしてください。
 - 電源アダプターは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
 - 本機を完全に主電源から切り離すためには、電源アダプターを電源コンセントから抜いてください。
-

バッテリーについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。発熱、破損、発火、火傷や感電の原因になります。
 - 製品に内蔵されている充電電池は、お客様ご自身で交換や取り外しをしないでください。（製品廃棄時を除く）
 - 本製品は、乳幼児の手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いには危険をともないます。
 - 本製品を直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近く、その他、高温多湿な場所に設置 および放置しないでください。感電やショートによる火災の原因になります。
 - 充電式電池を水に投げたり、湿らせないでください。
 - 充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。充電式電池が発熱、破裂、発火する原因になる恐れがあります。
 - 充電式電池が漏液したり異臭がするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。
 - 充電式電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。
 - 充電式電池は、絶対に解体しないでください。解体すると金属端子が露出し、ショートの原因となります。
 - 充電式電池をショート、加熱、または火の中に入れてください。ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因となります。
 - 一般のごみと一緒に捨てないでください。
 - 不要になった電池は、お住まいの地域の各自治体の指示に従い適切に処分してください。
-

電源プラグについて

ご使用の地域の規格に適合した電源アダプター、及びコンセントプラグをご使用ください。

ご注意: 万一、本製品に付属の電源アダプターのプラグ形状がお住まいの地域で使用されているプラグの形状と異なる場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

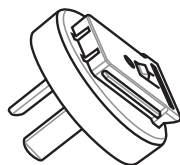
ご参考: サージ電圧による信号の乱れを防ぐため、出力元デバイスにはアース付きコンセントプラグのご利用を強くお勧めします。

電源プラグアダプター一例

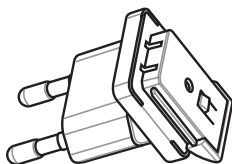
※ 本製品に付属する電源アダプターやプラグの形状は、ご購入の国や地域により異なります。



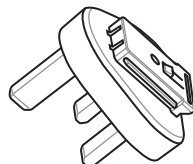
オーストラリア、中国



アルゼンチン

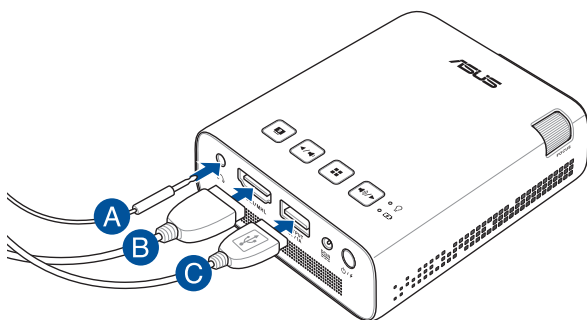


韓国

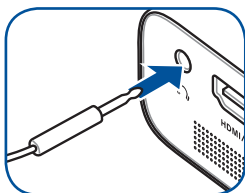


イギリス

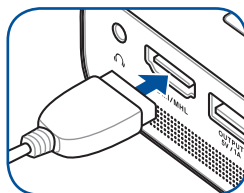
周辺機器をLEDプロジェクターに接続する



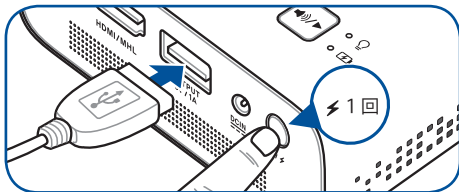
A オーディオジャック



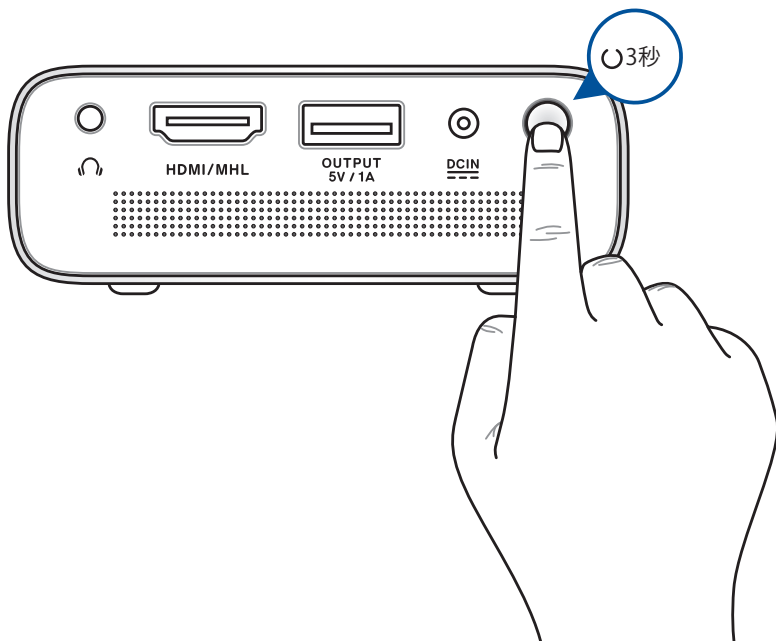
B HDMI/MHL



C 電源出力 (5V/1A)



電源ボタンを押す

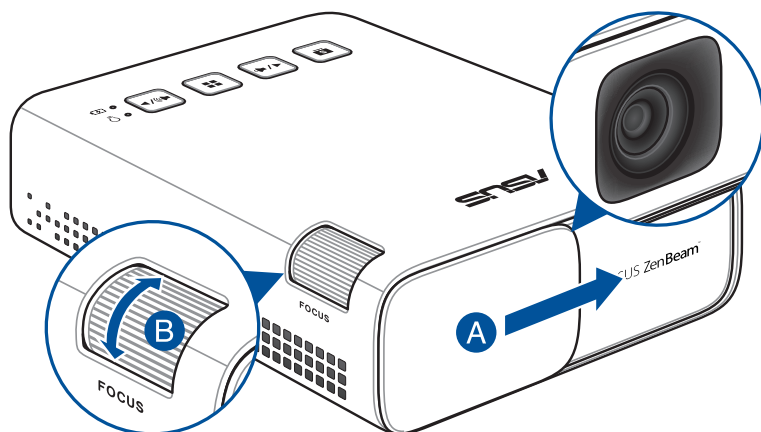


ご参考: バッテリーの残量と充電状態は本体上面の電源インジケータ/バッテリーインジケータで確認することができます。詳細については「**Chapter 1: 本製品概要**」をご覧ください。

レンズカバーを開き、フォーカスリングを調整する

ご参考: 焦点を調整する際は、静止画を表示した状態で調整することをお勧めします。

- A. レンズカバーを右方向にスライドさせ、レンズカバーを開きます。
- B. フォーカスリングを上下に回転させ、焦点 (ピント) を調整します。



スクリーンサイズと投写距離の一覧

本機からスクリーンまでの距離により投写サイズが決まります。次の表を参考に、適切なサイズで投写できる位置に本機を設置してください。

スクリーンサイズ - 16:9 (インチ) (mm)		投写距離 (m)
16	394	0.5
32	813	1.0
100	2540	3.1
120	3048	3.7



Chapter 3:

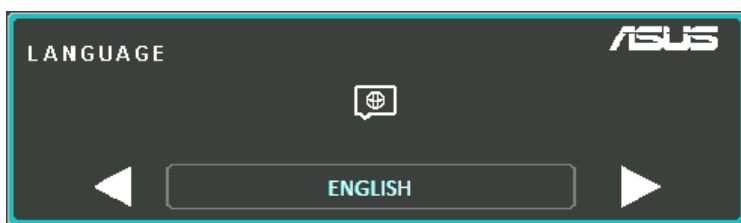
使用方法



LEDプロジェクターを初めて使用する

初めて本機を使用する場合は、次の手順を参考に設定を行なってください。

ご注意: 本機を初めて使用する際は、バッテリーが十分に充電された状態でご使用ください。バッテリー駆動時間は使用状況によって異なります。


1. Chapter2: セットアップの手順に従って正しく設置した後、電源ボタンを3秒ほど長押しします。
2. 本機上面コントロールパネルボタンの  または  を押し、表示言語を選択します。

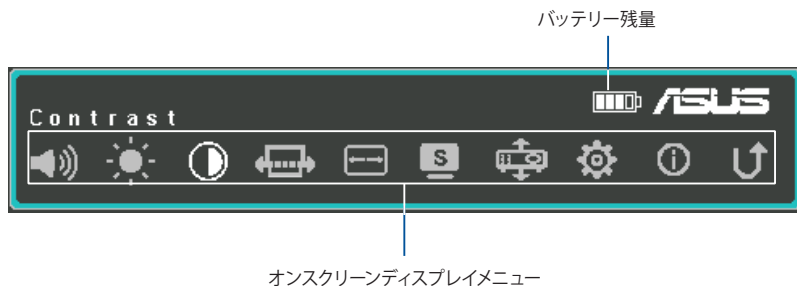


3.  を押し、選択した言語を適用します。
4. 以上の設定で、入力デバイスからの映像を投写することができます。入力デバイスが接続されていない場合、または検出されない場合、投写画面に「**信号がありません**」と表示されます。
5. コントロールパネルボタンの  を押すことで、様々な設定をすることができるオンスクリーンディスプレイが起動します。

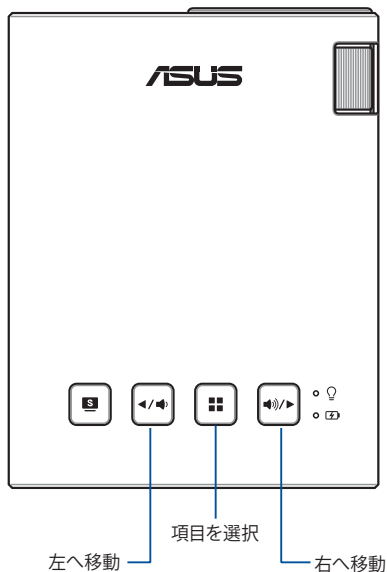
オンスクリーンディスプレイメニュー

本機にはオンスクリーンディスプレイ (OSD) 機能が搭載されており、オンスクリーンディスプレイを起動することによって、各種設定を行うことができます。

オンスクリーンディスプレイメニューは、本機上面コントロールパネルボタンの  を押すことで起動することができます。









オンスクリーンディスプレイメニューは、次のボタン操作で行います。



LEDプロジェクターの設定を調整する

次の手順でオンスクリーンディスプレイメニューを起動し、本機の各種設定を行うことができます。

1. オンスクリーンディスプレイメニューを起動します。
2.  または  を押し、調整したいオプションを選択します。
3.  を押し、選択した項目を決定します。
4.  または  を押し、設定値を調整します。
5.  を押し、設定を適用します。

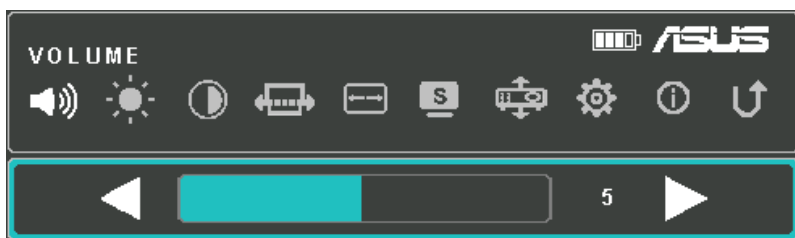
オプションに関する詳細は次ページ以降をご確認ください。

オンスクリーンディスプレイ メニューのオプション

ボリューム

内蔵スピーカーの音量を調整することができます。

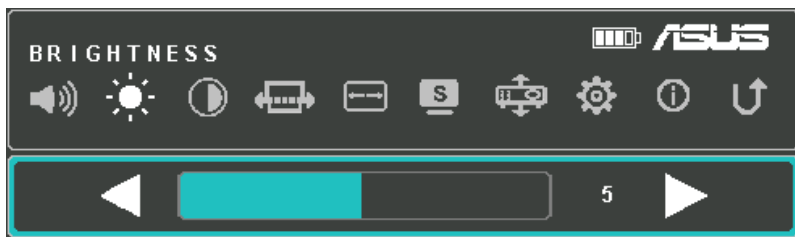
音量は0～10の範囲で調整することが可能です。



輝度

投写画面の明るさを調整することができます。

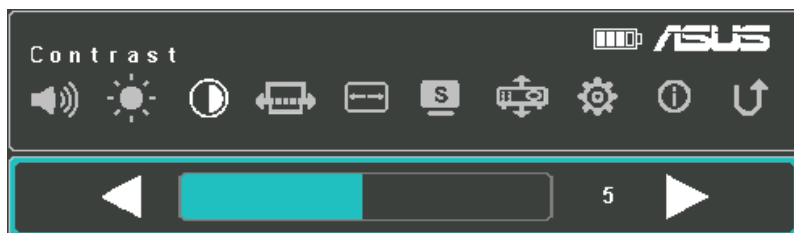
明るさは0～10の範囲で調整することが可能です。



コントラスト

投写映像のコントラスト (明暗差) を調整することができます。

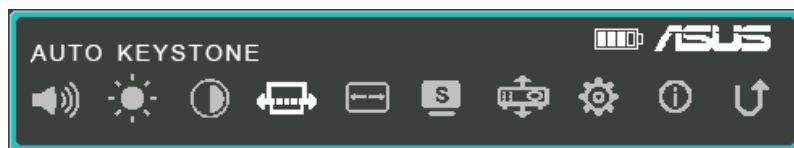
コントラストは0~10の範囲で調整することが可能です。



台形補正 (キーストーン)

映像の台形歪みを調整することができます。

台形補正は-40~+40の範囲で調整することが可能です。

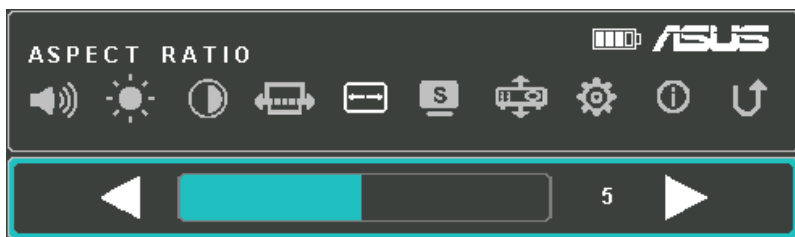


アスペクト比


投写画面のアスペクト比を調整することができます。

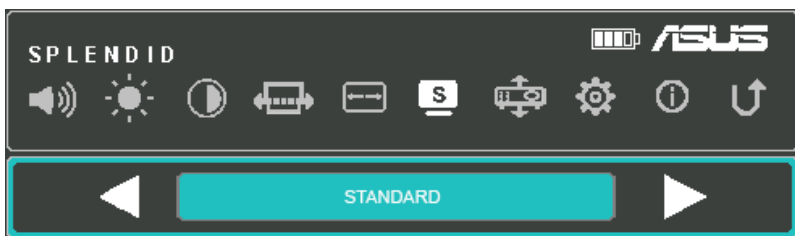
投写される画面のアスペクト比は、次のいずれかに設定することができます。

自動、4:3、16:9



Splendid

投写環境に応じて、プリセット設定から表示モードを切り替えることができます。投写画面で  を押すことで、表示モードを変更することができます。



利用できる表示モードについては次のページをご覧ください。

表示モード

ご参考: 本機の電源がオンの状態でSplendid/終了ボタンを押すことで、直接表示モードを変更することができます。

- **標準:** 電源アダプターを接続して利用する際に最適なモードです。
 - **シアター:** ビデオや映画の閲覧に最適なモードです。
 - **エコモード:** 省電力モードです。明るさなどを下げることで消費電力を抑え、長時間駆動を実現します。
 - **フラッシュライトモード:** バッテリー駆動時に投写する映像の入力がない場合にフラッシュライト (LED照明) として使用することができます。
 - **緊急時モード:** モールス符号と同じ、3短点、3長点、3短点(… — — — …) のタイミングで光の投写を行い、緊急事態であることを周囲に知らせます。
 - **プレゼンテーションモード:** プレゼンテーション用に輝度を最適化させ、バッテリーで最大90分まで駆動させることができます。
-

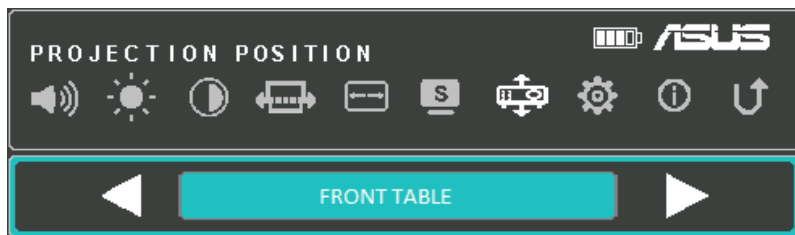
ご参考: フラッシュライトモードと緊急時モードは、バッテリー駆動時のみ利用可能です。

映像ポジション

本機の設置状態に合わせて、映像の投写方法を設定することができます。

次のいずれかに設定することができます。

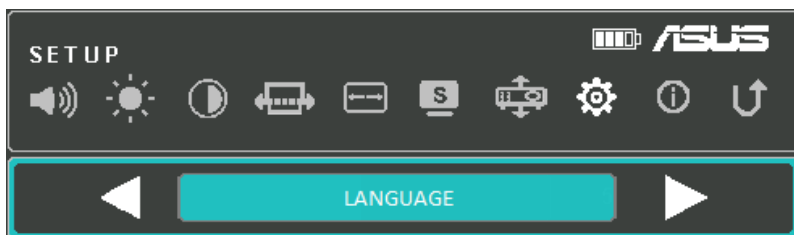
フロント、リア



セットアップ

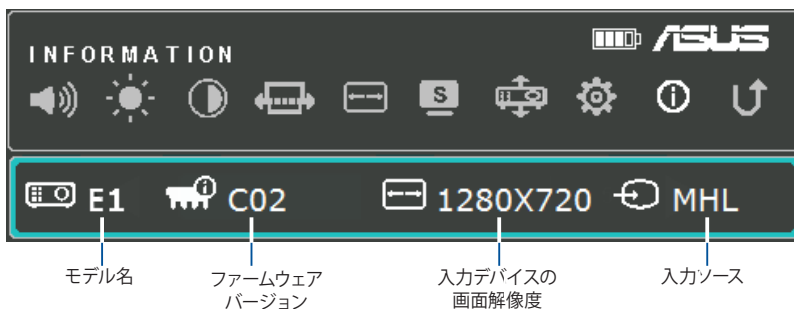
本機のシステムに関する設定をすることができます。

- **言語:** オンスクリーンメニューで使用する表示言語を設定することができます。
- **自動台形補正:** 映像の自動台形歪み調整機能のオン/オフを設定することができます。
- **設定の初期化:** 設定を行ったすべての設定値を、工場出荷時のデフォルト状態に戻すことができます。



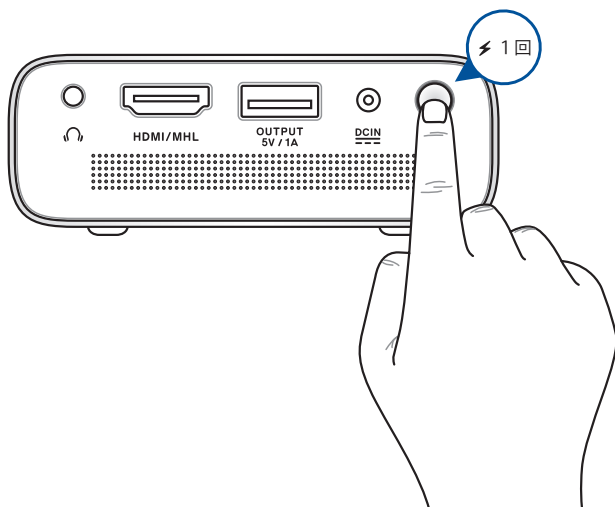
インフォメーション

本機に関する情報を表示します。

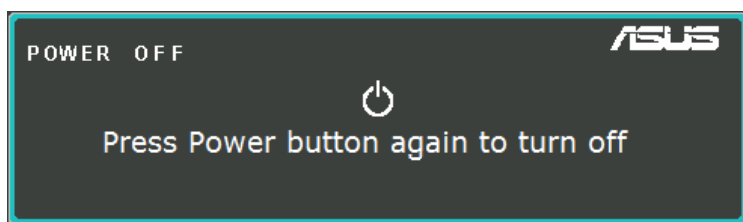


LEDプロジェクターの電源をオフにする

1. 背面の電源ボタンを短く押します。



2. 確認画面が表示されたら、もう一度電源ボタンを押して本機の電源をオフにします。



ご参考: 製品の使用直後はバッテリーや内部の温度が上がっているため充電を開始しないことがあります。故障ではありません。安全上の理由により、本製品はバッテリーや内部温度が一定の温度を超えた場合に充電しないよう設計されています。

付録

Federal Communications Commission Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than that which the receiver is connected to.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference that may cause undesired operation.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Global Environmental Regulation Compliance and Declaration

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <http://csr.asus.com/english/Compliance.htm> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

EU REACH SVHC

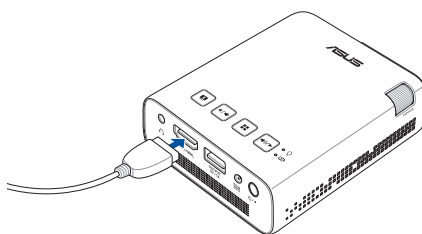
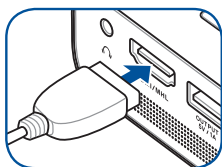
Korea RoHS

Swiss Energy Laws

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のごみとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

HDMI/MHL 接続方法



	<p>HDMI ポート搭載機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI ケーブル
	<p>Micro HDMI ポート搭載機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Micro HDMI - HDMI 変換アダプター • HDMI ケーブル
	<p>5ピン Micro-USB MHLポート搭載機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> • MHL ケーブル
	<p>11ピン Micro-USB MHLポート搭載機器 (Samsung Galaxyなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 5ピン- 11ピンMicroUSB変換アダプター • MHL ケーブル
	<p>30ピンコネクター搭載 iOS 機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Apple 30ピンDigital AVアダプター • HDMI ケーブル
	<p>Lightning™ コネクター搭載 iOS 機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Lightning - Digital AVアダプター • HDMI ケーブル

主な対応解像度および周波数

HDMI (PC)

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.25
1280 x 800	1280 x 800_60	59.81	49.702	83.5
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108
1280 x 1024	1280 x 1024_60	60.02	63.98	108
1366 x 768	1366 x 768_60	60	47.712	85.5
1440 x 900	1440 x 900_60	60	55.9	106.5
1680 x 1050	1680 x 1050_60	60	65.3	146.25
1400 x 1050	1400 x 1050_60	60	65.3	121.75
1600 x 1200	1600 x 1200_60	60	75	162
1920 x 1080	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5

HDMI (ビデオ)

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720 (1440) x 480	59.94	15.73	27
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 (1440) x 576	50	15.63	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5

E1 LED プロジェクターの仕様一覧

主な仕様	パネルサイズおよび 駆動方式	0.2インチDLP®
	光源	R/G/B LED
	光源の寿命	30,000時間
	解像度 (ネイティブ)	WVGA 854×480
	ライト出力 (輝度)	150 lm
	コントラスト比	800:1 (ネイティブ) 3500:1 (DCR)
	彩度 (NTSC)	100%
	最大表示色	約1,670万色
	投写レンズ	スローレシオ
投写距離		0.5 m~3.7 m
スクリーンサイズ		16インチ~120インチ
投写オフセット		100%
ズーム比		固定
映像機能		画質モード
	アスペクト比	自動/ 4:3 / 16:9
	台形補正	±40°
	設置位置	フロント、リア
特殊機能	動作モード	フラッシュライトモード、 緊急時モード
オーディオ 機能	内蔵スピーカー	2W×1 (ASUS SonicMaster搭載)
走査 周波数	デジタル信号周波数	24.7 KHz(H)~74.6 KHz(H) / 50 Hz(V)~60 Hz(V)

(次項へ)

消費電力	電源オン	≤24W
	スタンバイ	<0.5W
バッテリー	容量	6000mAh (5V@1A)
	電力量	22Wh (最大5時間)
ノイズ	騒音レベル	30dB (スタンバイモード) 28dB (シアターモード)
入力/出力	PC信号入力	HDMI1.3 (HDCP対応)/ MHL 2.0
	オーディオ出力	イヤホン出力、 内蔵スピーカー
	USBポート (電源出力対応)	5V/1A
本体設計	色	シルバー
	三脚取り付け部	あり (1/4-20UNC)
	搭載ボタン	コントロールパネルボタン
	レンズカバー	あり
サイズ	本体	83 mm×110 mm×29 mm (幅×奥行き×高さ)
質量	本体	約310 g (電源アダプターを除く)

(次項へ)

動作温度	0℃～40℃
動作湿度	20%～90%
アクセサリ	電源アダプター、 専用キャリーバッグ、 HDMIケーブル、 製品保証書、 クイックスタートガイド
準拠規格・条例	FCC / CE / CB / CCC / RCM / VCCI / CU / IEC62471 / CEC

- * 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。
- * 仕様およびデザインは地域により異なる場合があります。
- * 本書に記載の製品名及び企業名は、登録商標として登録されています。

